2026年7月6-12日

98番の歌 聖書は神の言葉

聖書の原則が大切なのはどうしてか

「理性を働かせて神聖な奉仕をする」。 ローマ 12:1

ポイント：聖書の原則とは何でしょうか。聖書を読んでいる時，どんなふうに原則を探し出せるでしょうか。

1-2. （ア）聖書はどれほど古い本ですか。（イ）聖書が今でも役に立つのはどうしてですか。

聖書はとても古い本です。3500年ほど前に書き始められ，2000年ほど前に書き終えられました。聖書には「神の言葉」が書かれていて，それは今でも役立ちます。（ヘブ 4:12 神の言葉は生きていて，力を及ぼし，どんな両刃の剣よりも鋭く，人の外面(c*ギ語プシュケー)と内面(c*ギ語プネウマ)，骨(d*関節)と骨髄を分けるほど深く刺し通して，心の中にある考えや願いを明らかにすることができます。テモ二 3:16，17 聖書全体は神の聖なる力(*)の導きによって書かれたもので，教え，戒め，矯正し，正しいことに基づいて指導するのに役立ちます。 17 それにより，神に仕える人は十分な能力を持つことができ，あらゆる良い活動を行う用意が完全に整います。）たくさんの人が，聖書がためになるということを実感しています。

2 そんなに古い本が現代でも役に立つのはどうしてでしょうか。2つの大きな理由があります。1つ目に，①**聖書には誰よりも賢い「生きている神」の考えが書かれている**からです。（テモ一 4:10 だからこそ私たちは力を尽くし，努力しています。**生きている神に希望を抱いている**からです。神は，あらゆる人，特に**忠実な人たちの救い主**です。ロマ 16:26，27 しかしその秘密は今や明らかにされ(*啓示され)，人々が信仰を抱いて従順になるよう，永遠の神の命令により，聖書の預言を通して全ての国で知らされています。 27 **ただひとり知恵のある神**が，**イエス・キリストを通して永遠にたたえられ**ますように。アーメン。）2つ目に，②**不変の原則が載っている**からです。時代や状況に左右されず，全ての人に役立つ原則です。

3. この記事ではどんなことを考えますか。

3 では，「①そもそも聖書の原則とは何でしょうか。②それが私たちにとってとても大切なのはどうしてでしょうか。　③聖書を読んでいる時，どんなふうに原則を探し出せるでしょうか。④イエスは，原則を考えることの大切さをどのように教えたでしょうか。」この記事ではそういうことを考えます。

聖書の原則とは何か

4. 聖書の原則とは何ですか。

4 聖書の原則とは，**エホバが決めたルールの根底**にあるもので，そこからエホバの考えが読み取れます。**ルールの背後にある理由**とも言えます。ルールそのものが原則になっている場合もあります。（マタ 22:37 イエスは言った。「『あなたは，**心**を尽くし，**知力**を尽くし，**自分の全て**を尽くして，**あなたの神エホバ**を**愛さなければ**ならない』。）とはいえ，原則はルールよりもはるかに優れています。ルールは特定の状況や場面に応じて作られるものなので，適用範囲が限定的です。それに対して，原則はいろんな状況で応用が利くものです。ルールは変わることがありますが，**原則は不変**です。（詩 119:111 **あなたの教え**を私は**永遠に手放さない(*永遠の財産とする)**。それは私の**心の喜び**だから。イザ 40:8 **青草は干**からび，**花は枯**れる。しかし，私たちの**神の言葉**は**永遠に存続**する」。）

5. 原則とルールの違いをどんな例えで説明できますか。（写真も参照。）

5 原則とルールの違いを例えで考えてみましょう。お母さんが小さい子供に「こんろに触っちゃ駄目よ」と言うとします。これはルールです。では，このルールの背後にある考え方，つまり原則は何でしょうか。熱いものに触るとやけどするから危ない，というものです。これは別にこんろに限ったことではなく，アイロンやストーブなど熱いもの全般に当てはまります。家の中でもほかのどんな場所でも変わりません。子供は大きくなると，こんろを使って料理するようになります。とはいえ，やはり火の扱いには注意しなければいけません。ルールは変わりますが，その根底にある原則は変わらないということです。



ルールは変わることがあっても，根底にある原則は変わらない。（5 節を参照）

聖書の原則が大切なのはどうしてか

6. （ア）エホバは聖書を通して何を与えていますか。（イ）エホバはどのように私たちの主体性を重んじていますか。

6 エホバは私たちを愛していて守りたいと思っているので，具体的なルールを与えています。（ヤコ 2:11「**姦淫をしてはならない**」と命じた方は，「**殺人をしてはならない**」とも命じました。それで，**姦淫をしなくても殺人をするなら，律法の違反者**となります。）でもそれだけでなく，聖書を通して，ルールの根底にある原則，つまりエホバの考えを理解できるようにも助けてくれています。そういう原則のおかげで，はっきりしたルールがない分野でも，正しいことをしたいという気持ちに沿っていい判断ができます。***エホバは私たちの主体性を重んじて，自分で考えて決められるように***してくれています。***エホバを愛し，エホバの基準を大切に思っている***ことが***表***

れた判断をしてほしいと思っています。（ガラ 5:13 兄弟たち，皆さんは招かれて自由になりました。その自由を，罪深い欲望を満たすために用いてはなりません。愛を抱いて仲間に仕えましょう。）

7. 聖書の原則をきちんとつかむことが大切なのはどうしてですか。例えで説明してください。（挿絵も参照。）

7 聖書の原則がどんなふうに役に立つか，例えで考えてみましょう。道路標識の中には，制限速度や一時停止など，明確なルールを示すものがあります。無視すると罰則が科されます。一方で，危険を警告する標識もあります。路面が滑りやすいとか，動物に注意，といった標識です。ベテランのドライバーはそういう標識を見たら，状況に合わせて慎重に運転します。雨や雪が降っていたらスピードを落としたりもするはずです。私たちクリスチャンも，聖書ではっきり禁じられていることを避けるようにします。でもそれだけでなく，危ない目に遭いかねないようなことにも気を付けます。そうやって危険を察知して上手に対応するには，原則，つまりエホバの考えをつかんでいることが大切です。



聖書の原則は，危険に気付かせてくれる道路標識のよう。（7 節を参照）

8. ローマ 12 章 1，2 節からすると，聖書の原則を探すようにすればどんな力が身に付きますか。

8 聖書の原則を見つけてそれを生かすことには，別のメリットもあります。エホバの考えをくみ取る力が育っていきます。聖書を読む時は，こんなふうに考えるようにしましょう。「①ここから何が学べるだろう。②エホバはどうしてこれを聖書に書かせたんだろう。③このことをどんなふうに役立てられるだろうか」。こうやってよく考えながら聖書を読めば，「理性」を働かせていることになり，「神の善い意志，喜ばしい完全な意志」を見極められるようになります。つまり，エホバの気持ちや好き嫌いが分かるようになるということです。（ローマ 12:1，2 そういう訳で，兄弟たち，**神の思いやり**に基づいて皆さんに強く勧めます。**自分の体を**，生きた犠牲，神に受け入れられる**聖なる犠牲として差し出して**ください。**理性を働かせて神聖な奉仕をする**のです。 2 そして，**今の体制によって形作られるのをやめ**てください。かえって，考え方を新しくすることによって**自分を変化**させましょう。それは，**神の善い意志，喜ばしい完全な意志を見極める**ためです。を読む。）*クリスチャンは複数の原則を慎重に考えます。そういう原則がどんなふうに関連し合っているのか，今の自分の判断にどう影響するのかを理解するようにします。そうやって理性的によく考えると，エホバに喜ばれるバランスの取れた判断ができます。1 世紀にクリスチャンになったユダヤ人にとって，こういう考え方を身に付けるのは大変だったはずです。それまでは伝統や細かいルールに従っていたからです。

9. 原則を生かしていくと，ほかにもどんないいことがありますか。（ヘブライ 5:13，14）

9 ***原則を生かしていけば，クリスチャンとして成長できます。*** エホバの好き嫌いが分かってくると，エホバの考えに沿った判断ができるようになり，エホバとの距離がどんどん近くなっていきます。（ヘブライ 5:13，14 いまだに乳を飲んでいる人は皆，幼い子供であり，神の正しい言葉をよく理解していません。 14 一方，**固い食物(*よくかんで食べる物)**は，**十分に成長した人(*大人)のためのもの**です。そのような人は，**使うことによって識別力(*知覚力)を訓練**したので，**正しいことも悪いことも見分けることができます。** を読む。）小さい子供には細かい規則やルールがたくさん必要です。それがないと，いろんな場面でどうしていいか分からなくなるからです。そして，子供は怒られたくないので従うかもしれません。でも，エホバは私たちを子供扱いするのではなく，一人前の大人として扱ってくれます。私たちがエホバの願いに沿って賢い判断ができると信じています。私たちがその気持ちに応えるとき，エホバはとても喜んで笑顔になってくれます。（詩 147:11 **エホバが好ましく思う**のは，**神を畏れる**人。 **神から揺るぎない愛を示されるのを待つ**人。格 23:15 わが子よ，**あなたの心が賢くなったら**， 私は**心から喜ぶ**，26 わが子よ，私に心を向けよ。 **喜んで私の道に目を向ける**ように。; 27:11 わが子よ，**賢くあって**，私の**心を喜ばせ**よ。 私を**あざける(*に挑む)者に**私が**答えるため**である。）

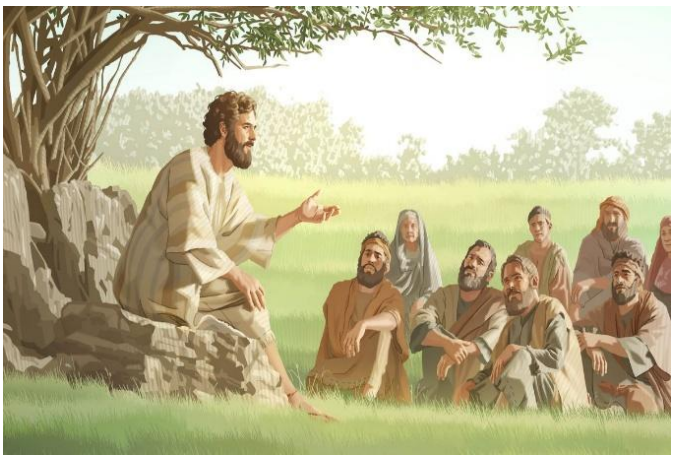
どんなふうに原則を探し出せるか

10. 聖書の原則をどんなふうに探し出せますか。

10 原則を探し出すためには，聖書の読み方が大切です。聖書を読む時，次の 2 つのことを考えるようにしましょう。①学べることと，②特定の規則やルールの背後にある理由です。そんなふうにして聖書を読んでいくと，エホバの考え方や気持ちがよく分かるようになっていきます。エホバの考えをつかむには，ほかにも大切なことがあります。①祈ることと，②考える力を伸ばすことです。（格 2:10-12 **知恵**があなたの**心に入り**， **知識が心地よいもの**となる時， 11 **思考力**があなたを**見守り**， **識別力**があなたを**保護**する。 12 あなたを次のものから救い出すためである。 悪い道から，堕落した事柄を話す人から，）次のように考えてみましょう。「①エホバはどうしてこのルールを作ったんだろう。②エホバがこれを嫌っているなら，あれについてはどう思うだろう。③この聖書の記録から何を学べるだろうか。④自分にどう生かせるだろうか」。学べることと，ルールの根底にある理由を探し出すようにすれば，判断力が磨かれていき，エホバの考えに沿った決定ができるようになります。

11. イエスは山上の垂訓で，聖書の原則の見つけ方をどのように教えましたか。（挿絵も参照。）

11 イエスは山上の垂訓で原則の見つけ方を教えました。3つの例を考えてみましょう。どの例でもイエスはまず，①エホバが作ったルールとして律法を引き合いに出しました。それから，②その律法の根底にあるエホバの考え，つまり原則を教えました。イエスが教えたことをよく考えると，そういう原則を現代でも応用できるということが分かります。



イエスは山上の垂訓で，ルールの根底にある原則の見つけ方を教えた。（11節を参照）

12. マタイ5章21，22節に出てくる律法の根底には，どんな原則がありますか。（写真も参照。）

12 マタイ 5:21，22 あなたたちは，古代の人々がこう命じられたのを知っています。『**殺人をしてはならない**。殺人を犯す人は法廷に引き出される』。 22 しかし私は言います。**仲間(d*兄弟)に対して憤りを抱き続ける人は皆，法廷に引き出されます**。ひどく侮辱的な言葉を仲間に言う人は最高法廷に引き出されます。また，『どうしようもない愚か者！』と言う人は，**火の燃えるゲヘナに投げ込まれ**ます。を読む。「殺人をしてはならない」というこの律法の根底には，どんな***原則***があるでしょうか。***エホバは人を憎まないでほしいと思っているということです。言葉や行動で憎しみを表すことはもちろん，心の中でも憎しみを持たないでほしいと思っています。***イエスがここで言っていたのは，実際に人を殺さないとしても仲間に悪感情を持ち続けると律法を破りかねない，ということでした。もし「仲間に対して憤りを抱き続け」たり，ひどいことを言ったりするなら，根底にある原則に反していることになります。そういう憎しみの気持ちは殺人につながることがあるからです。（ヨハ一 3:15 **兄弟を憎む人は皆，人殺し**です。皆さんが知っている通り，人殺しは**永遠の命を受けません。**）

13. マタイ5章21，22節の原則をどんなふうに応用できますか。（写真も参照。）

13 ***マタイ 5 章 21，22 節の原則をどんなふうに応用できるか。***誰かに対して怒り続けたり，恨みを持ったりしてはいけません。（レビ 19:18 隣人に復讐をしたり，恨みを抱いたりしてはならない。仲間を自分自身のように愛さなければならない。私はエホバである。ヨブ 36:13 神を認めない人(*背教者)たちは憤りを募らせ， 神に自由を奪われても，助けを求めて叫びません。）そういう気持ちは，やがて言動に表れてくるからです。（格 10:12 憎しみは口論を引き起こし， 愛は全ての違反を許す(d*覆う)。）悪口を言ったり，うわさ話を広めたりすることになるかもしれません。（格 20:19 **中傷する人は内密のことを漏らして回る。 うわさ好きの(*唇で誘う)人と交友を持ってはならない。**; 25:23 北風は大雨をもたらし，**うわさをする舌は怒りを招く。**）イエスがこの原則を教えた当時，インターネットもブログもSNSもメッセージングアプリもありませんでした。

でも，この原則を応用すれば，そういうテクノロジーの使い方についてもいい判断ができます。そういうものを使って人を悪く言ったり，傷つけたりするようなことは絶対にしたくありません



（12-13 節を参照）

14. マタイ 5 章 27，28 節に出てくる律法の根底には，どんな原則がありますか。（写真も参照。）

14 マタイ 5:27，28 あなたたちは，こう命じられたのを知っています。『**姦淫をしてはならない**』。 28 しかし私は言います。**女性を見続けて情欲を抱く人は皆，すでに心の中で姦淫をしたのです**。を読む。「姦淫をしてはならない」というこの律法の根底には，どんな***原則***があるでしょうか。***エホバは，性的不道徳だけではなく，それにつながる考えも憎んでいるということです。***イエスは，既婚の男性が妻以外の女性を不純な動機で見続けるとしたら，もう罪を犯したも同然だ，と言いました。それで私たちは，どんなに大変だとしても，不道徳な考えを振り払わなければいけません。（マタ 5:29，30 そこで，**もし右目があなたに罪を犯させているなら，えぐり出して捨て去りなさい。体の一部を失う方が，全身をゲヘナに投げ込まれるよりは，よい**のです。 30 また，もし右手があなたに罪を犯させているなら，切り離して捨て去りなさい。体の一部を失う方が，全身がゲヘナに落ちるよりは，よいのです。）既婚であれ独身であれ，そういう努力をするのは大切です。

15. マタイ 5 章 27，28 節の原則をどんなふうに応用できますか。（写真も参照。）

15 ***マタイ 5 章 27，28 節の原則をどんなふうに応用できるか。***良くない考えが頭に浮かぶとしても，不道徳なことを考え続けたりしてはいけません。（サム二 11:2-4 ある夕暮れ時，ダビデはベッドから起き上がり，王の家(*宮殿)の屋上を歩いていた。屋上から，**1 人の女性が体を洗っている**のが見えた。**非常に美しい女性**だった。 3 ダビデはその女性について調べさせたところ，「ヘト人ウリヤの妻で，エリアムの娘**バテ・シバ**です」という報告があった。 4 ダビデは使者たちに**バテ・シバを連れてこさせ**た。こうして彼女はダビデの所に来て，**ダビデは彼女と寝た**。（彼女が汚れ(c*月経の汚れのことかもしれない)から自分を清めている期間に起きたことだった。）その後，彼女は家に帰った。ヨブ 31:1-3 **私は自分の目と契約を結んだ**。だから**若い女性に対して不適切な関心を向ける**ことなどできない。 2 そんなことをすれば，天の神から頂く分け前はどうなるのだろう。高い所にいる全能者から頂く財産はどうなるのだろう。 3 悪を行う人には災難が，有害なことを行う人には不幸が待ち受けているのではないか。）どんな形のポルノもきっぱり避けます。見るだけなら問題ないとか，これはあからさまなポルノではないから大丈夫だ，などとは考えま

せん。もちろん，イエスの時代には電子機器も映画も写真もありませんでしたが，イエスが教えた原則から，いかがわしいものをエホバがひどく嫌っていることが分かります。セクスティング(携帯電話で性的に露骨な画像やメッセージを送ること)やオンラインセックス(電話でいかがわしい会話をしたり，性的に露骨なメッセージを聞いたりすること)もエホバは嫌っています。結婚しているなら，結婚相手を裏切るようなことは決してしないようにします。（マラ 2:15 しかし，そうはしない人がいた。聖なる力(c*へ語ルーアハ)の残りを持っていたからである。その人は何を求めていたか。**神の子孫**である。だから，**あなたたちも自分の内面の傾向(c*へ語ルーアハ)に気を付け**なさい。**若い時からの妻を裏切ってはならない。**）既婚でも独身でも，クリスチャンはみんな，この原則に沿って**性的不道徳につながる**ようなものは**一切避け**ます。（格 5:3-14 **いかがわしい(d*よその)女性の唇は蜜を滴らせ，彼女の口は油より滑らか**である。 4 しかし結局は，彼女は**ニガヨモギのように苦く，両刃の剣のように鋭い。** 5 **彼女の足は死へと下る。** その歩みは真っすぐ墓(c*へ語シェオル)に向かう。 6 彼女は命の道について全く考えない。 さまよい歩き，行き着く先を知らない。 7 私の子供たちよ，今，私の言うことを聞きなさい。 私の言葉から離れてはならない。 8 **彼女から遠く離れていよ。彼女の家の入り口に近づいてはならない。** 9 **自分の評判を落としたり悲惨な日々を過ごす**ことになったりしないため， 10 知らない人たちがあなたの資産(*力)を使い果たしてしまったり， あなたが働いて得たものが，外国人の家のものとなったりしないためである。 11 **さもないと，力と体が衰える人生の終わりに，** あなたはうめくことになる。 12 そしてあなたは言う。「ああ，**私は指導を憎み，私の心は戒めを軽んじた。** 13 私は教師たちの言うことを聞かず， 私を教える人たちに注意を払わなかった。 14 私は会衆(*)の皆の前で(d*集会と会衆の中で)， **今にも完全に破滅しそうだ**



（14-15 節を参照）

16. マタイ 5 章 43，44 節に出てくる律法の根底には，どんな原則がありますか。（写真も参照。）

16 マタイ 5:43，44 あなたたちは，こう命じられたのを知っています。**『隣人を愛し，敵を憎まなければならない』。** 44 しかし私は言います。**敵を愛し続け，迫害する人のために祈り続け**なさいを読む。「隣人を愛[さ]なければならない」という**この律法の根底**には，どんな***原則***があるでしょうか。***エホバは，全ての人を隣人と見て愛してほしいと思っているということです。***イエスの時代の**ユダヤ人たち**はこの**律法を間違って解釈**し，**敵を憎んでもよいと考えて**いました。でもイエスには，エホバが言いたかったのはそういうことではないと分かっていました。**エホバ**は私たちに，人種や国籍に関係なく全ての人を大切にしてほしいと願っています。（マタ 5:45-48 自分が

天にいる父の子であることを示すためです。**父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ**，正しい人にも正しくない人にも**雨を降らせて**くださるのです。 46 **愛してくれる人を愛したからといって**，どんな報いがあるでしょうか。徴税人も同じことをしていませんか。 47 兄弟たちにだけあいさつしたからといって，特別なことをしているのでしょうか。異国の人々も同じことをしていませんか。 48 ですから，あなたたちは，**天の父が完全であるように完全でなければ**なりません。）

17. マタイ 5 章 43，44 節の原則をどんなふうに応用できますか。（写真も参照。）

17 ***マタイ 5 章 43，44 節の原則をどんなふうに応用できるか。*** 私たちは隣人を愛しているので，戦争や紛争に関わりません。（イザ 2:4 **神は国々の中で裁きを下し，多くの人々を正しい方向に導く**(*人々に関して物事を正す)。彼らは**剣をすきに，やりを鎌に**作り替える。**国は国に向かって剣を振り上げず**，彼らはもはや**戦いを学ばない**。ミカ 4:3 **神は多くの人々の中で裁きを下し，遠くの強い国々の人たちを正しい方向に導く**(*人たちに関して物事を正す)。彼らは**剣をすきに，やりを鎌に作り替える。国は国に向かって剣を振り上げず**，彼らはもはや**戦いを学ばない。**）また，人種，国籍，宗教が違う人にも親切に接します。（使徒 10:34，35 そこでペテロは話し始めた。「神が不公平ではないことがよく分かりました。 35 神を畏れて正しいことを行う人はどの国の人でも神に受け入れられるのです。）さらに，自分や自分の大切な人を傷つけた人のことも気持ちよく許すようにします。（マタ 18:21，22 その時，ペテロが来て言った。「主よ，仲間が私に罪を犯すとき，**何回許すべき**でしょうか。7 回ですか」。 22 イエスは言った。「いいえ，**7 回ではなく 77 回です**。マル 11:25 立って祈るときには，**誰かに対して何か不満**があっても**許し**なさい。天にいる父に**自分の過ちを許していただく**ためです」。ルカ 17:3，4 注意していなさい。**仲間(d*兄弟)が罪を犯すなら強く警告し，悔い改めるなら許して**あげなさい。 4 その人が 1 日に 7 回あなたに罪を犯し，**7 回戻ってきて『悔い改めます』**と言うとしても，**許さなければ**なりません」。）



（16-17 節を参照）

根底にある原則をいつも意識する

18.（ア）これからもどんなことを意識していきたいと思いますか。（イ）次の記事ではどんなことを考えますか。

18 エホバは私たちに原則を教えて，エホバの考えに合わせて判断できるようにしてくれました。そうやって，私たちを子供扱いするのではなく一人前の大人として扱ってくれています。（コリ一 14:20 兄弟たち，**理解力の点で，幼い子供になってはなりません。悪に関しては幼い子供になり，理解力の点では大人になってください。**）それで，何かを決める時は「いつでも，エホバが何を望んでいるかを見極めましょう」。（エフェ 5:17 もう**無分別なことをしてはなりません。いつでも，エホバが何を望んでいるかを見極めましょう。**）単に罰を受けたくないからではなく，

エホバを心から愛しているので，「エホバはどうしてほしいと思っているんだろう」と考えながら決めるようにします。賢い選択をするために，エホバは別のものもくれました。良心です。次の記事でそのことについて考えます。

何を学びましたか

１．聖書の原則とは何ですか。

・S04　聖書の原則とは、エホバが決めたルールの根底にあるもので、そこからエホバの考えが読み取れる。ルールの背後にある理由とも言えます。ルールそのものが原則になっている場合もある。

２．原則とルールにはどんな違いがありますか。

・S04　原則はルールよりもはるかに優れていて、ルールは特定の状況や場面に応じて作られるもので適用範囲が限定的だが、原則はいろんな状況で応用が利くもの。

・S05　お母さんが小さい子供に「こんろに触っちゃ駄目よ」と言うのは**ルール**で、その背後にある考え方つまり**原則**は熱いものに触るとやけどするから危ない、というもの。これは別にこんろに限らずどんな場所でも変わらない。子供は大きくなると、こんろを使って料理するようになっても、やはり火の扱いには注意しなければならない。ルールは変わることがあっても、根底にある原則は変わらない。

・S07　道路標識の中には、制限速度など明確なルールを示すものがある一方で、路面が滑りやすいといった**危険を警告する標識**もある。クリスチャンも、聖書ではっきり禁じられていることを避けるだけでなく、危ない目に遭いかねないようなことにも気を付ける。そうやって危険を察知して上手に対応するには、原則、つまりエホバの考えをつかんでいることが大切。

・S08-09　**聖書の原則**を見つけてそれを**生かす**なら、①**エホバの考えをくみ取る力**が**育って**いき、②**クリスチャンとして成長**できる、という**メリット**もある。

３．イエスは山上の垂訓でどんな原則を教えましたか。

・S12-13　**マタイ 5:21、22**「仲間に対して憤りを抱き続けない」（原則）**エホバは人を憎まないでほしいと思っている。**⇒誰かに対して怒り続けたり、恨みを持ったりするなら、やがて言動に表れて悪口を言ったり、うわさ話を広めたりすることになる。

・S14-15　**マタイ 5:27、28**「女性を見続けて情欲を抱いてはならない」（原則）**エホバは、性的不道徳だけではなく、それにつながる考えも憎んでいる。**⇒ポルノを初め若い女性に対して不適切な関心を向けたり、性的不道徳につながりかねないものは一切避ける。

・S16-18　**マタイ 5:43、44**「隣人･･･敵を愛し続ける」（原則）**エホバは、全ての人を隣人と見て愛してほしいと思っている。**⇒戦争や紛争に関わらず、人種、国籍、宗教が違う人にも親切に接し、自分や自分の大切な人を傷つけた人のことも気持ちよく許す。

95 番の歌 光は明るさを増す

^ クリスチャンは複数の原則を慎重に考えます。そういう原則がどんなふうに関連し合っているのか，今の自分の判断にどう影響するのかを理解するようにします。そうやって理性的によく考えると，エホバに喜ばれるバランスの取れた判断ができます。1 世